一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会（通称：環境放射能除染学会）

第８回定時社員総会

議事次第

令和４年１月 28 日（金）　10：30～11：30

於　~~日比谷コンベンションホール（日比谷図書文化館地下１階）~~

Web によるオンライン会議（Web ツール：Webex）に変更

１．開会

２．会長挨拶

３．審議事項

第１号議案　令和３年度事業報告及び決算について

第２号議案　理事・監事の選任について

４．報告事項

第１号報告　令和４年度事業計画及び収支予算について

第２号報告　第 11 回研究発表会について

５．閉会

（配布資料）

1. 資料 1-1　令和３年度事業報告書
2. 資料 1-2　令和３年度収支決算書
3. 資料 1-3　令和３年度貸借対照表および財産目録
4. 資料 1-4　令和３年度監事監査報告書
5. 資料２　　新役員名簿（案）
6. 資料 3-1　令和４年度事業計画書
7. 資料 3-2　令和４年度収支予算書
8. 資料４　　第 11 回研究発表会について

【第１号議案】令和３年度事業報告及び決算について
（令和２年 11 月１日～令和３年 10 月 31 日）

令和３年度事業報告書

１．登録会員数（令和３年 10 月 30 日現在）

個人会員	188 名
学生会員	２名
法人会員Ａ	44 社
法人会員Ｂ	１社
公益会員	４社

※「定款第 10 条　会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。
(4)2 年以上会費を滞納したとき。」に従い、平成 30 年度から令和２年度の会費滞納者 11 名が令和３年度(令和２年 11 月１日～)より資格喪失となった。

２．一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会　理事会及び総会
理事会及び総会を以下の通り開催した。

１）令和３年度第１回通常理事会（第 19 回）
日時：令和２年 12 月 16 日（水）　13：30～14：30
場所：Zoom による Web 会議

➢　審議事項

・第１号議案　令和２年度事業報告及び会計報告について
事務局より議案書のとおり報告が行われ承認された。

・第２号議案　令和３年度定時社員総会の開催について
議案書のとおり、令和３年度定時社員総会を次のとおり開催することが承認された。
日　時　：令和３年１月 29 日（金）　13：00～13：30
開催方法：Web による総会
ただし、議決に関しては事前に電磁的方法（場合によっては文書も併用）によるものとし、総会当日は資料の説明会、質疑応答の場とする。
議　題　：【審議事項】
第１号議案　令和２度事業報告及び決算について
第２号議案　理事の選任（案）について
【報告事項】
第１号報告　令和３年度事業計画及び収支予算について
第２号報告　第 10 回研究発表会について

・第３号議案　理事の選任（案）について
議案書のとおり提案が行われ、承認された。

➢　報告事項

・第１号報告　学会賞等の公募について
2021 年度学会表彰候補者の推薦を開始することが報告された。

・第 2 号報告　第 17 回講演会について
講演会開催に向けて準備を始めていることが報告された。

２）令和3年度第2回通常理事会（文書による決議）（20回）
令和3年10月28日（木）に議案書を送付し、10月31日までに理事、監事全員から同意書を得た。議案は次の通り。

➢　審議事項
(1) 令和4年度事業計画及び収支予算について

➢　報告事項
(1) 第10回研究発表会の結果及び第11回研究発表会の予定について
(2) 第10回研究発表会優秀発表賞の表彰について
(3) 令和4年度第1回定例理事会及び定時社員総会の日程について
(4) 業務執行理事の職務執行状況の報告

３）令和 3 年度定時社員総会（第 7 回）
日　時　：令和 3 年 1 月 29 日（金）13：00～13：30
開催方法：Web による総会
ただし、議決に関しては「委任状又は議決権行使書」の提出により承認されており、総会は資料の説明会、質疑応答の場とした。

➢　審議事項
・第1号議案　令和2年度事業報告及び決算報告について
事務局より事業報告書、収支計算書、貸借対照表および財産目録の報告が行われた後、柴田監事より監事監査報告が行われ、質疑応答は無かった。
・第2号議案　理事の選任について
事務局より、現在の役員である理事の清水英樹氏の辞任にともない、補欠（任期は前任者の残存期間）の理事候補として、仁平義祐氏を選任する旨説明され、質疑応答は無かった。

➢　報告事項
・第1号報告　令和3年度事業計画及び収支予算について
令和3年度事業計画書及び収支予算書について報告があった。
・第2号報告　第10回環境放射能除染研究発表会について
事務局より第10回環境放射能除染研究発表会についての報告があった。
・第3号報告　2021学会賞等の公募と2020学会賞の受賞者について
事務局より2021学会賞等の公募と2020学会賞受賞者についての報告と、本来であれば第9回研究発表会の場で受賞者の発表と授賞式を執り行うところ、コロナ禍により参集しての場を設けることが難しく、このような形での発表となったことへのお詫びと説明をした。

３．講演会活動

➢　第 17 回講演会
2021 年 1 月 29 日（金）に、オンライン講演会形式で「福島原発事故後の 10 年の歩みと将来展望」をテーマに開催した。なお、今回は中間貯蔵・環境安全事業（株）（JESCO）と共同で進めている「減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク」の会合も併催した。
講演内容は次の通り。（敬称略）
講演 1）福島原発事故後 10 年の環境再生の歩みと将来展望　　環境省　大野　晧史

講演 2）10 年の技術的対応と総括と今後の技術的課題　　国立環境研究所　大迫　政浩

併催：減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク～技術実証事業成果発表会（第 1 回）～

・技術実証事業の概要の紹介　　JESCO　日置　潤一

・技術実証事業の成果発表

・グループ 1　除去土壌の再生利用等の技術開発　大林組、安藤ハザマ、鹿島建設

・グループ 2　セシウムの効率的分離による除去土壌等の減容の技術開発

日立造船、鹿島建設、久保田環境サービス

・総合ディスカッション

４．研究発表会

第 10 回は 8 月に福島市で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、Web により開催した。

➢ 第 10 回研究発表会の開催状況は次の通り。

実行委員長：大迫政浩（会長・国立環境研究所）

開　催　日：令和 3 年 8 月 25 日（水）、26 日（木）

開催場所　：オンライン開催（Zoom 会議システム利用）

・研究発表会参加人数：232 名（昨年度 221 名）

・研究発表数等：口頭発表：33 件、ポスター発表：21 件

（昨年度　口頭発表：39 件、ポスター発表：30 件）

・企画セッション：3 件（企画セッション 1・2：2 時間、企画セッション 3：2 時間 50 分）

①環境放射能除染学会 10 周年記念企画　福島の環境再生の過去と将来を考える

②県外最終処分技術戦略研究会　成果についての特別企画セッション

③減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク～技術実証事業成果発表会（第 3 回）～

・企業展示：4 件、企画展示：1 件、広告支援：5 件

（昨年度　企業展示 5 社、企画展示 3 団体）

・なお、国際シンポジウムは実施を見送った。

５.表彰（学会表彰・発表賞）

１）学会表彰

ホームページにて学会賞・学術賞・技術賞・奨励賞・功労賞の推薦募集を行い、表彰委員会によって選定を行った。

《受賞者》

学会賞　佐藤 理夫氏　（福島大学 共生システム理工学類 教授）

学術賞　倉持 秀敏氏　（国立研究開発法人 国立環境研究所）

技術賞　鹿島建設＆京都大学大学院チーム

技術賞　奥村組＆県立広島大学チーム

奨励賞　保高 徹生氏　（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）

功労賞　川﨑 興太氏　（福島大学 共生システム理工学類 教授）

（賞状およびクリスタルの盾<副賞>を授与）

２）第 10 回研究発表会優秀発表賞表彰

第 10 回研究発表会において選考委員会を設置し、内規に則り最優秀、優秀口頭発表賞および最優秀、優秀ポスター発表賞を選考した。

《受賞者》

最優秀口頭発表賞	奥村大河氏ほか２名（東京大学、農業・食品産業技術総合研究所）
優秀口頭発表賞	保高徹生氏ら、日下英史氏ら、半井健一郎氏らおよび吉田浩子氏の４組
最優秀ポスター発表賞	山村充氏ほか３名（国土防災技術）
優秀ポスター発表賞	宍戸愛莉氏ら、堀江裕貴氏ら、荒川和香氏らおよび三浦拓也氏らの４組

６．ジャーナルの発行

本年度は、vol.8,No.4 から vol.9,No.3 までの４巻が発行された。

７．対外協力

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が作成・運用を行う、福島第一原子力発電所事故に関する情報検索システム「福島原子力事故関連情報アーカイブ（ＦＮＡＡ）」に第 10 回研究発表会要旨集の情報を提供し、公開予定。

また、「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」への参加を継続し情報の交流をしている。

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（小林正明社長他）と協力して、減容化・再生利用と復興を考える知のネットワークを構築し、活動を行っている。

８．分科会活動等

「県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方に関する研究会（通称：県外最終処分技術戦略研究会）」を設置し、除染から最終処分までの全工程の俯瞰と課題の包括的整理、現状の高度減容化技術の調査と整理、到達可能減容化率の試算等に関する調査研究の成果等を踏まえて、県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方について検討を行い、研究成果を取りまとめた。

９．その他

つくば事務所担当職員の交代に伴い、学会業務の効率化を図るため、業務の見直しと一部業務の外注化を行った。

資料1-2

令和3年度　収支計算書

2020年11月1日から2021年10月31日

一般社団法人　環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会　（単位：円）

科　　目	予算額	決算額	差額（決算－予算）	備考
Ⅰ事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
① 会費収入	8,630,500			
個人会員会費収入	1,386,000	1,674,000	288,000	
シニア会員会費収入	90,000	113,000	23,000	
学生会員会費収入	4,500	9,000	4,500	
法人A会員会費収入	6,750,000	7,150,000	400,000	
法人B会員会費収入	200,000	300,000	100,000	
公益会員会費収入	200,000	200,000	0	
② 事業収入				
研究発表会収入	5,000,000	1,809,365	△ 3,190,635	
講演会費収入	100,000	0	△ 100,000	1月29日第17回開催、出納なし
学会誌収入	150,000	165,900	15,900	
既刊ﾃｷｽﾄ販売	50,000	3,500	△ 46,500	
受託事業収入	1,410,000	916,452	△ 493,548	
④ 雑収入				
受取利息収入		168	168	
その他雑収入			0	
その他事業収入			0	
事業活動収入計	15,340,500	12,341,385	△ 2,999,115	
2．事業活動支出				
① 事業費支出				
研究発表会支出	5,000,000	1,226,347	△ 3,773,653	
講演会費支出	250,000	0	△ 250,000	
学会誌等刊行費支出	2,520,000	2,353,292	△ 166,708	
部会活動費支出	80,000	0	△ 80,000	
受託事業支出	700,000	215,978	△ 484,022	
記念事業費	0	52,017	52,017	
② 管理費支出				
人件費支出	3,020,000	2,777,247	△ 242,753	
法定福利費	460,000	373,920	△ 86,080	
福利厚生費支出	10,000	0	△ 10,000	
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ運営費支出	500,000	0	△ 500,000	
会議費支出	120,000	0	△ 120,000	
旅費交通費支出	420,000	133,100	△ 286,900	
通信運搬費支出	240,000	243,492	3,492	
消耗品費	350,000	159,217	△ 190,783	
備品費	150,000	0	△ 150,000	
新聞図書費	0	946	946	
事務所費支出	600,000	699,825	99,825	水/光熱費・家賃・駐車場
支払手数料支出	20,000	10,120	△ 9,880	
業務委託費支出	0	0	0	
雑支出	100,000	189,319	89,319	
リース料	100,000	95,928	△ 4,072	
租税公課	70,000	0	△ 70,000	
事業活動支出計	14,710,000	8,530,748	△ 6,179,252	
事業活動収支差額	630,500	3,810,637	3,180,137	
Ⅱ投資活動収支の部				
1.投資活動収入	0	0	0	
2．投資活動支出	0	0	0	
Ⅲ財務活動収支の部				
1．財務活動収入	0	0	0	
2．財務活動支出	0	0	0	
Ⅳ予備費支出	0	0	0	
Ⅴ収支差額				
当期収支差額	0	3,810,637	3,810,637	
前期繰越収支差額	16,585,592	16,585,592	0	
次期繰越収支差額 ＊	16,585,592	20,396,229	3,810,637	

＊安定化資金5,000,000円及び10周年記念事業（コロナ禍で延期中）積立金5,000,000円を含む

貸借対照表

令和３年10月31日現在

一般社団法人　環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
（流動資産の部）		（流動負債）	
現金	72,877	未払金	0
普通預金	15,887,725	未払費用	0
郵便貯金	4,315,627	前受金	0
前払費用	0	預り金	0
未収入金	0		
流動資産合計	20,276,229	流動負債合計	0
（固定資産）		（正味財産の部）	
敷金	120,000	一般正味財産	20,396,229
固定資産合計	120,000	正味財産合計	20,396,229
資産合計	20,396,229	負債及び正味財産合計	20,396,229

財産目録

令和３年10月31日現在

一般社団法人　環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
（流動資産）				
	現金	つくば事務所保管	運転資金として	72,877
	普通預金	普通預金 三井住友銀行つくば支店	運転資金として	15,510,191
		普通預金 三井住友銀行自由が丘支店	運転資金として	377,534
	郵便貯金	普通貯金 ゆうちょ銀行	運転資金として	4,315,627
	前払費用			0
	未収入金			0
流動資産合計				20,276,229
（固定資産） その他固定資産	敷金	つくば事務所	事務所敷金	120,000
固定資産合計				120,000
資産合計				20,396,229
（流動負債）	未払金			0
	未払費用			0
	前受金			0
	預り金			0
流動負債合計				0
負債合計				0
正味財産				20,396,229

資料1-4

令和３年度監事監査報告書

令和３年11月24日
一般社団法人　環境放射能とその除染・
中間貯蔵および環境再生のための学会

監事　柴田康行　印

監事　中川友夫　印

1. 帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要事項と思われる監査手法を用いて計算書類の正確性を検討した結果、貸借対照表・財産目録・収支計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財政状況を正しく示しているものと認める。

2. 事業報告については、事業報告書の内容は真実であると認める。

一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会
新役員名簿（案）

理　事

	氏　　名	所　　属	備考
1	秋山　庸子	大阪大学	理事
2	伊東　孝郎	日立造船株式会社	理事（新任）
3	伊藤　光明	いであ株式会社	理事
4	大迫　政浩	国立研究開発法人国立環境研究所	理事
5	太田　進	公益社団法人におい・かおり環境協会	理事
6	押野　嘉雄	鹿島建設株式会社	理事
7	川﨑　興太	福島大学	理事（新任）
8	川瀬　啓一	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	理事（新任）
9	木川田　一弥	株式会社安藤・間	理事（新任）
10	倉持　秀敏	国立研究開発法人国立環境研究所	理事
11	小林　正明	中間貯蔵・環境安全事業株式会社	理事
12	三倉　通孝	東芝エネルギーシステムズ株式会社	理事
13	佐藤　理夫	福島大学	理事
14	篠崎　剛史	株式会社三菱総合研究所	理事（新任）
15	鈴木　務	太平洋セメント株式会社	理事（新任）
16	須藤　欣一	一般社団法人日本環境測定分析協会	理事
17	高田　博充	清水建設株式会社	理事（新任）
18	多田　光宏	JFEエンジニアリング株式会社	理事
19	峠　和男	株式会社ＥFAラボラトリーズ	理事
20	永山　貴志	クボタ環境サービス株式会社	理事（新任）
21	仁平　義祐	前田建設工業株式会社	理事
22	納多　勝	株式会社大林組	理事
23	林　誠二	国立研究開発法人国立環境研究所	理事（新任）
24	二見　賢一	水ing株式会社	理事（新任）
25	万福　裕造	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	理事
26	保高　徹生	国立研究開発法人産業技術総合研究所	理事（新任）
27	吉田　幸弘	株式会社環境管理センター	理事（新任）
28	米田　稔	京都大学	理事

監　事

1	柴田　康行	学校法人東京理科大学	監事
2	山本 収三	三友プラントサービス株式会社	監事（新任）

【第１号報告】　令和４年度事業計画及び収支予算について
（2021 年 11 月 1 日～2022 年 10 月 31 日）

令和 4 年度事業計画書

１．登録会員数について

学会の発展と安定的な運営に資するため、会員の増加を目指す。

令和 3 年 10 月 20 日現在の会員数は次のとおり。()内は前年度

個 人 会 員：　188（197）名（学生会員 2(1)名含む）

法人会員Ａ：　44(45)社

法人会員Ｂ：　1(2)社

公 益 会 員：　4(4)社

この数を上まわる会員数目標を達成するため、会員の要請に応える事業展開をするとともに、広く関係機関に広報活動を行う。

２．定時社員総会及び定例理事会

定時社員総会

日時　令和 4 年１月 28 日(金)

場所　会場選定中　コロナ感染状況によっては WEB 会議

議事　役員の選出、令和 3 年度事業報告及び決算等について　等

第 1 回定例理事会

日時　令和 3 年 12 月 17 日(金)

場所　JESCO 会議室(予定)　　コロナ感染状況によっては WEB 会議

議事　定時社員総会の日程及び議題について　等

第 2 回定例理事会

日時　令和 4 年 10 月頃

議事　令和 5 年度事業計画及び収支予算について　等

３．講演会

年 1 回程度、講演会を開催する。講演会は、研究活動や共同研究事業との連携を図りつつ行うよう努める。

・第 18 回講演会

令和 4 年度定時社員総会に併設して実施予定

日　時：令和 4 年 1 月 28 日（金）

場　所：会場選定中　コロナ感染状況によっては WEB 会議

テーマ：未定

４．研究発表会

第 11 回研究発表会を福島県郡山市において開催予定。

※コロナ感染状況によっては WEB 開催とする

日　時：研究発表：令和 4 年 8 月 24 日（水）、25 日（木）、
　　併設エクスカーション：26 日（金）

場　所：けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）

５．ジャーナルの発行

学会誌の発行については年 4 回を予定。

６．研究活動等

「県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方に関する研究会（通称：県外最終処分技術戦略研究会）」において、除染から最終処分までの全工程の俯瞰と課題の包括的整理、現状の高度減容化技術の調査と整理、到達可能減容化率の試算等に関する調査研究の成果等を踏まえて、県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方について検討を引き続き行う。

７．関係機関との協力

中間貯蔵・環境安全事業株式会社との「連携・協力に関する協定」に基づき、共同研究の実施、「知のネットワーク」の運営等、連携・協力を進める。

また、国立環境研究所との情報交流の強化を図るとともに、関連の企業、NPO 等との情報交流に努める。

資料3-2

一般社団法人　環境放射能とその除染・中間貯蔵及び環境再生のための学会

令和4年度　収支予算書

2021年11月1日から2022年10月31日

単位：円

科　　目	令和4年度予算	令和3年度予算	〈参考〉 令和3年度実績（暫定）
Ⅰ事業活動収支の部			
1．事業活動収入			
① 会費収入	**9,278,000**	**8,630,500**	**9,278,000**
個人会員会費収入	1,656,000	1,386,000	1,656,000
シニア会員会費収入	113,000	90,000	113,000
学生会員会費収入	9,000	4,500	9,000
法人A会員会費収入	7,200,000	6,750,000	7,200,000
法人B会員会費収入	100,000	200,000	100,000
公益会員会費収入	200,000	200,000	200,000
② 事業収入			
研究発表会収入	5,000,000	5,000,000	1,804,365
講演会参加費収入	100,000	100,000	0
学会誌収入	150,000	150,000	153,900
既刊テキスト販売	10,000	50,000	3,500
受託事業収入	800,000	1,410,000	916,452
③ 雑収入			
受取利息収入			151
その他雑収入			0
事業活動収入計	**15,338,000**	**15,340,500**	**12,156,368**
2．事業活動収支の部			
① 事業費支出			
研究発表会支出	5,000,000	5,000,000	1,215,197
講演会費支出	250,000	250,000	0
学会誌等刊行費支出	2,520,000	2,520,000	2,522,714
部会活動費支出	50,000	80,000	0
受託事業支出	400,000	700,000	211,578
10周年記念事業費			37,526
② 管理費支出			
人件費支出	3,100,000	3,020,000	2,786,747
法定福利費	770,000	460,000	578,529
福利厚生費支出	10,000	10,000	0
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ管理・維持費支出	1,260,000	500,000	0
会議費支出	120,000	120,000	0
旅費交通費支出	200,000	420,000	127,571
通信・運搬費	240,000	240,000	217,724
消耗品費	200,000	350,000	138,094
備品費	80,000	150,000	0
事務所費支出	720,000	600,000	717,304
支払手数料支出	10,000	20,000	8,470
業務委託費支出		0	0
雑支出	100,000	100,000	191,805
新聞図書費			946
リース料	100,000	100,000	95,928
租税公課	70,000	70,000	0
事業活動支出計	**15,200,000**	**14,710,000**	**8,850,133**
事業活動収支差額	**138,000**	**630,500**	**3,306,235**
Ⅱ投資活動収支の部			
1.投資活動収入			
2. 投資活動支出			
Ⅲ財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
2. 財務活動支出			
Ⅳ予備費支出	0	0	0
Ⅴ正味財産期初残高			
当期収支差額	138,000	630,500	3,306,235
前期繰越収支差額	20,676,743	17,102,820	17,370,508
次期繰越収支差額　＊	20,814,743	17,733,320	20,676,743

＊安定化基金5,000,000円及び10周年記念事業（コロナ禍で延期中）積立金5,000,000円を含む

資料 4

【第 2 号報告】第 11 回研究発表会について

1. 第 11 回研究発表会

実行委員長：万福　裕造（理事　：農業・食品産業技術総合研究機構）

開催予定日：令和 4 年 8 月 24 日（水）、25 日（木）、26 日（金）エクスカーション

懇親会予定 24 日（水）

開催場所：けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）

（〒963-8878 福島県郡山市堤下町 1 番 2 号）

（　https://bunka-manabi.or.jp/kc-center/institution/　）